

## 採点基準 世界史

- ※ 以下の加点ポイントは目安です(加点ポイントは< >でくくり、得点として+1を付けている)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。
- ※ 学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう！

### 第1問 冷戦下の社会主義諸国の動向 (配点20点)

- ※ 8行目に入っている答案を採点対象とする。
- ※ 指定語句は指定された形で用いていない場合は加点しない。
- ※ 20行目に入っていない答案は、加点ポイントを満たしていても満点にしない。
- ※ 指定語句に下線を引いていない答案(個数には関わらない)は、全体から1点減点とする。

#### 1 第二次世界大戦後～1950年代 ※下線は指定語句

- ① ユーゴスラヴィアをティトーが指導したこと…1点
- ② ①がソ連に対して自主路線を採ったこと…1点  
※「ユーゴスラヴィアがコミンフォルム(共産党情報局)から除名された」なども可
- ③ フルシチョフがスターリン批判(平和共存政策)を表明したこと…1点
- ④ ③に影響されて、ハンガリーで反ソ暴動(ハンガリー事件)が起こったこと…1点
- ⑤ ポーランドで、反政府反ソ暴動が起こった(ポズナニ暴動)こと…1点
- ⑥ ④はソ連の軍事介入によって弾圧されたこと…1点
- ⑦ ③(スターリン批判)に対して中国が反発したこと…1点
- ⑧ 中ソ対立の例:ソ連が中ソ技術協定を破棄したこと…1点  
※「ソ連が中国から技術者を引き上げた」なども可

#### 2 1960年代

- ① 部分的核実験禁止条約が米ソ主導で結ばれたこと…1点  
※「部分的核実験禁止条約に中国が参加しなかった」なども可
- ② 中ソ対立が激化した(中ソ論争に発展した)こと…1点  
※「中ソ国境紛争が起こった」「国境で武力衝突が起こった」なども可
- ③ 中ソ対立に関わって、アルバニアがソ連と断交したこと…1点  
※1の⑧で、「アルバニアが中国を支持した」などを述べても可
- ④ ブレジネフがスターリン批判を中止したこと…1点
- ⑤ チェコスロヴァキアで民主化運動が起こったこと(「プラハの春」)…1点
- ⑥ ブレジネフ(ワルシャワ条約機構軍)が、⑤を弾圧したこと…1点  
※「(独自外交路線の)ルーマニアは⑤に参加しなかった」「ブレジネフ=ドクトリンを唱えた」なども可
- ⑦ ティトーが(第1回)非同盟諸国首脳会議を開催したこと…1点
- ⑧ ⑦は第三勢力(第三世界)の結束に貢献したこと…1点

### 3 1970年代～1980年代

- ① (中ソ対立を背景に) 中国はアメリカ合衆国に接近したこと…1点
- ② ①の結果, ニクソン訪中が行われたこと…1点
- ③ ②はデタント (緊張緩和) を促進する一要素であったこと…1点
- ④ 当時は第2次冷戦 (新冷戦) の時期であったこと…1点
- ⑤ (④の時期に) ポーランドで自主管理労組「連帯」が結成されたこと…1点
- ⑥ ⑤は後の東欧自由化の先駆となったこと…1点
- ⑦ ソ連でゴルバチョフが書記長となったこと…1点  
※「ゴルバチョフがペレストロイカ (グラスノスチ) を進めた」なども可
- ⑧ ⑦が新思考外交を打ち出したこと…1点  
※「ソ連による東欧社会主義諸国への内政干渉の否定」なども可
- ⑨ 東欧で共産党一党支配が終焉へ向かったこと…1点  
※具体例可: ポーランドで自主管理労組「連帯」が非共産主義政権を樹立  
: 東ドイツでホネカー政権が倒された (ベルリンの壁開放)  
: ハンガリーは複数政党制に移行  
: チェコスロヴァキア (ビロード革命)・ブルガリアで政権交代  
: ルーマニアで独裁崩壊 (チャウシェスクが逮捕・処刑)
- ⑩ 米ソ首脳がマルタ会談で冷戦の終結を宣言したこと…1点

4 論理構成点 (= 上記加点ポイントの他に, 論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。論述問題の解答は, 単に歴史用語をつなげればよいというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けている。解答欄の右上欄外に, +1を付けている。加点されない場合は数字なし)

- ① ユーゴスラヴィア・ポーランド・ハンガリー・ルーマニア・チェコスロヴァキア・アルバニア・中国 (中華人民共和国) のうち, 5カ国以上ソ連のとの関わりを明記していること…1点

### 第2問 戦争の歴史 (配点 20点)

- ※ 加点ポイントをすべて満たしていても, それ以外に明白な誤りがある場合は, 満点を与えない。
- ※ 加点ポイントの合計が満点に達しても, 設問全体の必須事項が欠けている場合は, 満点を与えない。
- ※ 指定以外の解答欄に書いている場合は採点しない (0点)。

問(1)(a) 4点 (b) 3点

問(2)(a) 2点 (b) 2点

問(3)(a) 5点 (b) 3点 (c) 1点

問(1)(a) 4点満点 ※①②は同盟名と盟主名が正しい場合のみ加点

- ① デロス同盟の盟主がアテネであったこと…1点
- ② ペロポネソス同盟の盟主がスパルタであること…1点
- ③ ①②の両勢力の間で戦争が起こったこと (ペロポネソス戦争の勃発) …1点
- ④ ペリクレスの死後, アテネ民主政が混乱したこと…1点

- ※「扇動政治家 (デマゴーゴス) の出現」「衆愚政治」「アテネが敗北 (スパルタが勝利)」なども可
- ⑤ ペルシア (アケメネス朝) がスパルタを支援したこと…1点

(b)3 点満点

- ① ローマが分割統治を行ったこと…1点
- ② ①の内容：征服した諸都市に処遇の格差を設けたこと…1点
- ③ 同盟市が市民権を求めて蜂起したこと…1点
- ④ イタリア半島（パドゥス川以南）の全自由民が市民権を獲得したこと…1点
- ⑤ スラが戦争を鎮圧したこと…1点

問(2) (a)2点満点

- ① チベットの国家が吐蕃であること…1点
- ② ①に対し唐が懐柔策をとった（姻戚関係を結んだ）こと…1点
- ③ ①に長安を占領されたこと…1点

(b)2点満点

- ① 北京条約で外国公使の北京駐在権が認められたこと…1点
- ② 従来朝貢体制が崩壊したこと…1点
- ③ 対等な主権国家間の外交交渉を行う機関が必要になったこと…1点

問(3) (a)5 点満点

- ① 名誉革命で議会主権が確立したこと…1点
- ② イギリス国債の信用が高かったこと…1点
- ③ ②の理由：徴税権を持つ議会が元利を保証したこと…1点
- ④ イングランド銀行が創設されたこと…1点
- ⑤ イギリス国内で国債が人気を集めたこと…1点  
※「国債で戦費を調達できた」なども可
- ⑥ オランダでイギリス国債が人気を集めたこと…1点
- ⑦ 名誉革命の結果、イギリスとオランダが同君連合となったこと…1点

(b)3 点満点 ※戦争名と地域名が正しい場合のみ加点

- ① マイソール戦争で、南インドを征服したこと…1点
- ② マラーター戦争で、デカン高原を征服したこと…1点
- ③ シク戦争で、パンジャーブ地方を征服したこと…1点

第3問 教育の歴史（配点 20点）

- ※ 漢字の誤りは不可
- ※ ひらがな表記は不可
- ※ b音をv音で表記しているものは不可
- ※ 音引きの有無や位置が違うものは原則不可
- ※ 指定以外の解答欄に書いている場合は採点しない（0点）。

※各2点

- (6) ドイツ観念論哲学 可  
カント哲学、批判哲学 などカントに関連する語句など 1点

以上